

令和2年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

令和2年1月14日

上場会社名 株式会社 エスケイジャパン 上場取引所 東
コード番号 7608 URL <https://www.sk-japan.co.jp>
代表者 （役職名） 代表取締役社長 （氏名） 八百 博徳
問合せ先責任者 （役職名） 管理部長 （氏名） 石井 正則 TEL 03-6660-5005
四半期報告書提出予定日 令和2年1月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 令和2年2月期第3四半期の連結業績（平成31年3月1日～令和元年11月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2年2月期第3四半期	4,820	△5.0	459	△32.2	460	△32.7	450	△25.6
31年2月期第3四半期	5,074	33.8	677	192.8	683	191.3	605	68.1

（注）包括利益 2年2月期第3四半期 455百万円（△25.5％） 31年2月期第3四半期 611百万円（70.5％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2年2月期第3四半期	53.89	—
31年2月期第3四半期	72.48	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2年2月期第3四半期	3,950	3,226	81.7	386.21
31年2月期	3,454	2,837	82.1	339.65

（参考）自己資本 2年2月期第3四半期 3,226百万円 31年2月期 2,837百万円

（注）「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前連結会計年度に係る財政状態については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値としております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
31年2月期	—	3.00	—	4.00	7.00
2年2月期	—	4.00	—		
2年2月期（予想）				6.00	10.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

令和2年2月期期末配当金の内訳 普通配当4円 30周年記念配当2円

3. 令和2年2月期の連結業績予想（平成31年3月1日～令和2年2月29日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	円 銭
通期	6,500	△5.2	520	△33.9	520	△34.4	515	△25.4

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、本日（令和2年1月14日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名） 、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2年2月期3Q	8,490,103株	31年2月期	8,490,103株
2年2月期3Q	135,186株	31年2月期	135,186株
2年2月期3Q	8,354,917株	31年2月期3Q	8,354,996株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善によって緩やかな景気回復基調が続いている一方で、米中貿易摩擦の激化や英国のEU離脱問題、また消費税率引上げによる消費活動への影響が顕在化し始めるなど、依然として先行きに不透明感を残す状況で推移しました。

このような中、当社グループは前年同期の実績を下回るものの、売上高は、4,820百万円（前年同期比5.0%減）、営業利益は459百万円（前年同期比32.2%減）、経常利益は460百万円（前年同期比32.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は税効果会計における繰延税金資産の計上の見直しもあって450百万円（前年同期比25.6%減）と利益面では前回修正の業績予想を上回る結果となりました。

セグメントの概況は次のとおりであります。

<キャラクターエンタテインメント事業>

キャラクターエンタテインメント事業におきましては、「星のカービィ」「ドラえもん」「シャクレルプラネット」「忠犬もやし」等の定番キャラクターは堅調に推移しましたが、アミューズメント施設向けの菓子商品の販売が想定を下回った結果、売上高3,308百万円（前年同期比6.5%減）、営業利益414百万円（前年同期比26.0%減）となりました。

<キャラクター・ファンシー事業>

キャラクター・ファンシー事業におきましては、一部の定番キャラクター商品がやや想定を下回りましたが、引き続き「ポケットモンスター」等のゲーム関連キャラクター商品の販売が好調であった事と、専用ECサイトでの「もちもちマスコット」シリーズの販売と自社オリジナルキャラクター「忠犬もやし」やバスボール（フィギュア入り入浴剤）の販売が比較的堅調に推移した結果、売上高1,511百万円（前年同期比1.6%減）、営業利益44百万円（前年同期比62.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて495百万円増加し、3,950百万円となりました。これは主に、商品の増加額128百万円、受取手形及び売掛金の増加額118百万円、流動資産のその他の増加額88百万円、繰延税金資産の増加額63百万円、現金及び預金の増加額60百万円によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて106百万円増加し、723百万円となりました。これは主に、未払法人税等の減少額84百万円により一部相殺されたものの、買掛金の増加額140百万円、賞与引当金の増加額34百万円によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて389百万円増加し、3,226百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加額383百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、最近の業績の動向等を踏まえ、令和元年10月11日に公表いたしました令和2年2月期（通期）の連結業績予想を修正いたしました。

なお、当該予想数値の修正に関する事項は、本日（令和2年1月14日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成31年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (令和元年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,099,365	2,160,040
受取手形及び売掛金	669,667	788,613
電子記録債権	225,955	205,755
商品	201,764	330,608
その他	69,653	158,306
貸倒引当金	△207	△235
流動資産合計	3,266,199	3,643,088
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	14,697	14,697
減価償却累計額	△9,579	△13,116
建物及び構築物（純額）	5,117	1,580
車両運搬具	1,119	—
減価償却累計額	△934	—
車両運搬具（純額）	184	—
建設仮勘定	7,418	—
その他	111,297	151,642
減価償却累計額	△98,992	△119,105
その他（純額）	12,305	32,536
有形固定資産合計	25,025	34,117
無形固定資産	11,892	56,176
投資その他の資産		
投資有価証券	44,053	50,961
退職給付に係る資産	45,901	42,204
繰延税金資産	47,719	111,128
その他	26,245	25,115
貸倒引当金	△12,668	△12,668
投資その他の資産合計	151,252	216,741
固定資産合計	188,170	307,035
資産合計	3,454,369	3,950,124

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成31年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (令和元年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	236,702	376,945
未払法人税等	106,790	22,613
賞与引当金	19,600	54,186
その他	208,920	225,040
流動負債合計	572,013	678,785
固定負債		
執行役員退職慰労引当金	—	660
その他	44,641	43,916
固定負債合計	44,641	44,576
負債合計	616,655	723,362
純資産の部		
株主資本		
資本金	461,997	461,997
資本剰余金	492,935	492,935
利益剰余金	1,922,816	2,306,253
自己株式	△51,678	△51,678
株主資本合計	2,826,070	3,209,507
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,863	17,577
繰延ヘッジ損益	495	2,497
為替換算調整勘定	△2,715	△2,821
その他の包括利益累計額合計	11,643	17,253
純資産合計	2,837,714	3,226,761
負債純資産合計	3,454,369	3,950,124

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成30年3月1日 至 平成30年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成31年3月1日 至 令和元年11月30日)
売上高	5,074,384	4,820,336
売上原価	3,363,811	3,220,687
売上総利益	1,710,573	1,599,649
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	274,745	316,722
賞与引当金繰入額	52,782	54,186
退職給付費用	6,616	18,085
執行役員退職慰労引当金繰入額	—	660
荷造運搬費	255,098	255,515
貸倒引当金繰入額	318	28
その他	443,263	495,196
販売費及び一般管理費合計	1,032,824	1,140,393
営業利益	677,748	459,255
営業外収益		
受取利息	25	53
受取配当金	541	590
為替差益	4,564	—
賃貸収入	715	929
その他	200	220
営業外収益合計	6,047	1,793
営業外費用		
為替差損	—	831
その他	1	4
営業外費用合計	1	836
経常利益	683,795	460,212
特別利益		
固定資産売却益	4	—
特別利益合計	4	—
特別損失		
固定資産売却損	162	127
特別損失合計	162	127
税金等調整前四半期純利益	683,637	460,084
法人税、住民税及び事業税	97,622	75,650
法人税等調整額	△19,577	△65,841
法人税等合計	78,044	9,808
四半期純利益	605,592	450,276
親会社株主に帰属する四半期純利益	605,592	450,276

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成30年3月1日 至 平成30年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成31年3月1日 至 令和元年11月30日)
四半期純利益	605,592	450,276
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,468	3,713
繰延ヘッジ損益	12,110	2,001
為替換算調整勘定	△304	△105
その他の包括利益合計	6,338	5,609
四半期包括利益	611,931	455,886
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	611,931	455,886
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

①簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

（追加情報）

（「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用）

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

（執行役員退職慰労引当金）

執行役員退職慰労金制度導入に伴い、将来の支出に備えるため、第1四半期連結会計期間より内規に基づく四半期連結会計期間末要支給額を執行役員退職慰労引当金として計上しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

Ⅰ 前第3四半期連結累計期間（自 平成30年3月1日 至 平成30年11月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	キャラクター エンタテイン メント事業	キャラクター・ ファンシー 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,538,467	1,535,917	5,074,384	—	5,074,384
セグメント間の 内部売上高又は振替高	2,209	103	2,313	(2,313)	—
計	3,540,677	1,536,021	5,076,698	(2,313)	5,074,384
セグメント利益	560,567	117,181	677,748	—	677,748

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 平成31年3月1日 至 令和元年11月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	キャラクター エンタテイン メント事業	キャラクター・ ファンシー 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,308,830	1,511,505	4,820,336	—	4,820,336
セグメント間の 内部売上高又は振替高	75	153	228	(228)	—
計	3,308,906	1,511,658	4,820,565	(228)	4,820,336
セグメント利益	414,923	44,331	459,255	—	459,255

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。